

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して。

トヨタは、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。クルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる存在を目指して、トヨタは成し遂げるべき6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジと、プラスへのチャレンジ)を掲げます。気候変動や資源・水の循環など、どのチャレンジも困難なものばかりですが、2050年に向けて、社会とともに持続的に発展できるよう取り組みを着実に進めていきます。

<https://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge2050/>



トヨタ カムリ 環境仕様

車両型式	DAA-AXVH70		
エンジン	総排気量	L	2.487
駆動装置	駆動方式	前輪駆動方式	
車両重量	kg	1,570 ~ 1,630	1,540
燃料消費率	JCO8燃料消費率*1(国土交通省審査値)	km/L	28.4★
	CO ₂ 排出量	g/km	82
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	SU-LEV*2*3	
	認定レベル値または適合規制値	CO/NMHC/NOx	g/km
車外騒音	加速/定常/近接	dB	
冷媒の種類(GWP値*4)/使用量	g		HFC-134a(1,430*5)/550
	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*6)	
環境負荷物質削減	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*7)	
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	揮発性有機化合物	自工会自主目標達成	
車室内VOC*8	自工会自主目標達成		
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を	TSOP*9	バンパー、インストルメントパネル、エンジンアンダーカバー
	使用した部品	TPO*10	ダッシュサイレンサー、ガラスラン
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	
	リサイクル材の使用	再生フェルト	フロアカーペット・サイレンサー類、ラゲージトリム

■全車「2020年度燃費基準*11」をクリアしています。★印の車両はアイドリングストップ装置付き

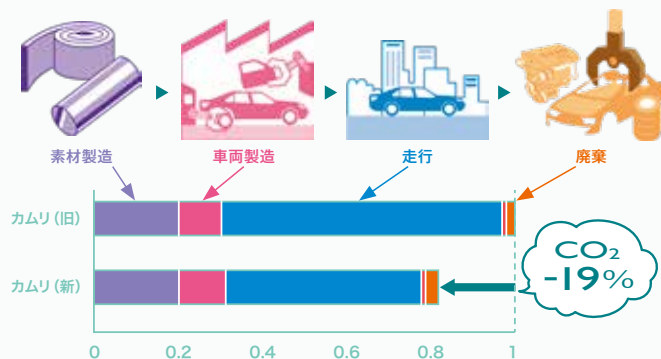
*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2. JCO8モード走行。*3. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル。*4. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。*6. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。*7. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンパネーションメーター、ディスプレイランプ、蛍光灯)を除く。*8. VOC: Volatile Organic Compounds *9. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer *10. TPO: Thermo Plastic Olefin *11. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。

CO₂ゼロを成し遂げる“0”へのチャレンジ

～ゼロを目指し、一歩ずつ確実に進めていきます～

CO₂0 製造から廃棄まで考えた「トータルクリーン」なクルマづくり

走行時だけでなく、製造から廃棄・リサイクルまで考えたクルマづくりで、ライフサイクルで排出するCO₂を削減しています。



トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」: Life Cycle Assessment)で評価します。自動車の生涯走行距離10万km(10年)をJCO8モードで走行した場合の結果です。LCA評価結果は指数で示しています。



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

CO₂0 「人と地球にやさしい」走りを実現

低燃費＝低CO₂排出量。あらゆる部品の軽量化・効率化に取り組み、トップレベルの低CO₂を実現。さらにハイブリッドシステムインジケーターでエコな走りをサポートします。



エコドライブでもCO₂を削減
▶“My TOYOTAドライブ診断”
お客様の運転のエコ度を評価するアプリコンテンツです。



プラスの世界を成し遂げる“+”へのチャレンジ

～地球環境に寄り添い続けます～



クルマから、クルマへ。資源循環の新たなカタチ

トヨタは、HVモーターに含まれるレアアースを循環させ、Car to Carリサイクルシステムを進めています。



エコなクルマは、エコな工場・人から

カムリを作る工場では、「森の中にある工場に!」を合言葉に、2008年から工場の森づくりをスタートしました。地域に昔から生息している樹木を調査し、種から育てた苗木を、従業員と家族、地域の方々が5千人で5万本植えた木々も大きく育ち、絶滅のおそれがあるサンショウクイなどの鳥たちが羽休めに立ち寄っています。

